



戸倉蓉子

株式会社ドムスデザイン 代表取締役

第6回  
最終回

## スタッフがイキイキする バックヤード

今回は、工夫次第で人材確保にまで関係する医療施設のバックヤードについて考えてみたいと思います。私が大学病院に勤務していた40年前の話ですが、当時の職員用の食堂や廊下が暗く、そこに行くのが怖かったのを今でも覚えています。

不思議なもので、それは仕事への気分にも伝染します。特に準夜や深夜勤務の時は憂鬱でした。そんな過去の経験から、私はスタッフの居場所にも目を向けずにはいられないのです。無機質な壁紙を温かみのある色に変えるだけでも気分が変わります。見過ごされがちなバックヤードの4つのポイントを、事例を交えてご紹介します。

### ポイント1 スタッフトイレ

「トイレが汚くて辞めました」——これは実際に聞いた言葉です。トイレが老朽化している施設

は多くあると思います。古いから即NGではないのですが、防水層が切れている、タイルが割れている、壁紙が剥がれている……など放置されているのはよくありません。

スタッフトイレを美しくする1つの効果に、「感性が磨かれる」があります。

なぜ、トイレが感性を磨く場になるので

しょう。医療施設の理事長や院長先生方は、海外を含め良いホテルに滞在されることも多く、良質なサービスや空間を体験されていると思います。しかし、医療従事者がどれだけ同じような体験ができているのでしょうか。

「ホスピタル」と「ホテル」の語源がラテン語で同じように、ホテルライクなおもてなしをされてみないと、自分が人にすることはできません。患者さんのベッドサイドでスリッパが乱れていたら直せる気づきや、掲示物の貼り方ひとつとっても、いつも雑然とした環境に身を置いてはできないのです。

感性は磨くものです。美しいトイレは気持ちを整え、感性磨きの原点です。

### ポイント2 スタッフ更衣室

スタッフ更衣室も、あまり大切に考えられていない場所です。ロッカーを置いて終わり、という更衣室が何と多いことでしょう。更衣室は「さあ、今日も頑張ろう」と前向きな気分にする場所にしたいものです。意識的に加えてほしいのは鏡です。

ポイント2 更衣室の一角に鏡を。お洒落コーナーにするとつい覗きたくなるものです。身だしなみと笑顔のチェックに。

(隈病院)



ポイント1 まるでカフェのようなトイレ。白いタイルに黒縁の鏡、黄緑色のパネルがアクセント。

(隈病院 [兵庫県神戸市])





患者さんに接する前の身だしなみチェック、笑顔チェックが自然とできる環境を創りましょう。できれば、おしゃれな鏡を。スタッフが醸し出す雰囲気、笑顔は患者さんを励ます要素です。

### ポイント3 スタッフ廊下

患者さんエリアに比べて、バックヤードの廊下は「なんでもよい」という考えの施設は多いようです。中には、段ボール箱が積まれ物置状態の廊下も……。そのような雑然とした空間は士気を下げます。

また、殺風景な廊下は歩行距離が長く感じられます。壁面にアートを飾るだけでもギャラリーのような雰囲気になり、歩行距離は短く感じられます。廊下のあり方ひとつで、スタッフの背筋が伸び、歩く姿が変わります。楽しい廊下で颯爽と歩くことが習慣化されたら、病棟を歩く姿もきっと素敵になるはずです。



**ポイント3** 楽しい壁紙のスタッフ廊下。社員食堂前なのでワクワクする色合いと食材柄で。

(姫野病院[福岡県八女郡])

### ポイント4 スタッフ休憩室

「窓から緑の見える病室の患者さんは、見えない病室の患者さんより回復が早い」——入院日数と環境の関係を調査した結果、わかったことです。

緑は人間にとって大切な存在だとわかります。しかし、虫が出るなど院内に植物を入れることについては賛否両論あり、お勧めしたいのがフェイクグリーン（人工植物）です。今はよくできていて本物と見分けがつかないほどです。



**ポイント4** 森の中にいるようなスタッフ休憩室。

(上: 隈病院)

壁面緑化と吊り椅子でリラックスできるコーナーも。

(右: 隈病院)



スタッフの休憩室にもそんな緑効果を。まるで森の中で休んでいるような気分になれば、短い休憩時間でもリフレッシュ効果は抜群、仕事の効率も上がります。

### 最後に・・・

今回が最終回となりました。6回お付き合いいただきましてありがとうございました。

大学病院で勤務した経験から、病院の環境を改善して患者さんやスタッフが前向きな気持ちになれるようにしたいという想いで30年。多くの医療施設様で良い結果が生まれるのを見てまいりました。待合室の照明、アート、カーテン、トイレ空間等を工夫することで患者さんやスタッフの気持ちに変化が起こり、結果として良い医療提供の場になるということを感じていただけましたら幸いです。今後の皆様の、ますますのご発展を祈念して。

#### profile

とくら ようこ：ナースとして慶應義塾大学病院に勤務後、建築家を目指しミラノの建築大学に留学。帰国後一級建築士取得。現在、女性だけの設計事務所、株式会社ドムスデザインの代表を務める。感動のある医療環境を多数デザイン。2016年、ベトナムにドムスインターナショナル設立。

一級建築士・看護師・イタリア政府認定デザイナー・宅建物取引士